



関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	簿記概論Ⅰ・Ⅱ、原価計算論Ⅰ
教科書	「原価計算」岩崎勇(東京法令出版)
補助教材等	プリント
学習上の留意点	
<p>1・2年生の頃に学習した商業簿記について復習しておくこと。授業の時は、必ず電卓を持参すること。関数電卓ではなく、簿記用の電卓を準備すること。授業中は、寝ない。しゃべらない。メリハリが必要です。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>専門科目に入ると、初めて聞く内容が増えてきて理解するのも大変になります。この講座では、教科書に出てくる難解な内容をできるだけかみくだいて説明したり、身の回りの具体的なものに例えて説明することを心がけて授業を行う予定です。進む進度もすこしゆっくりめに設定しています。</p>	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	0 ガイダンス 1 総合原価計算 ・単純総合原価計算 ・等級別総合原価計算 ・組別総合原価計算 ・工程別総合原価計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月末仕掛品原価の計算を理解できる。</li> <li>・加工進捗度の意味を理解できる。</li> <li>・先入先出法による計算を理解できる。</li> <li>・総平均法による計算を理解できる。</li> <li>・等価係数を理解できる。</li> <li>・組直接費、組間接費を理解できる。</li> <li>・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。</li> <li>・2つの工程の計算ができる。</li> <li>・仕損が発生した場合の計算ができる。</li> <li>・副産物の処理を理解できる。</li> </ul>	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
2			
3			
4			
5			
6	2 本社工場会計 3 製造業の決算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本社工場間の仕訳を理解できる。</li> <li>・製造原価報告書について理解できる。</li> <li>・会計期末における原価差異の処理を理解できる。</li> </ul>	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
7			
8	<b>中 間 試 験</b>		
9	答案返却・解答解説 4 標準原価計算 ・原価標準の設定 ・原価差異の計算と分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。</li> <li>・標準原価計算の手続きの流れを説明できる。</li> <li>・原価標準の設定の方法を理解できる。</li> <li>・標準原価の計算を理解できる。</li> <li>・原価差異の計算し、分析することができる。</li> <li>・価格差異と数量差異の分析ができる。</li> <li>・作業時間差異と賃率差異の分析ができる。</li> <li>・予算差異、能率差異、操業度差異の分析ができる。</li> <li>・標準原価の記帳ができる。</li> </ul>	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
10			
11			
12			
13	5 直接原価計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利益計画と直接原価計算の意味を理解できる。</li> <li>・直接原価計算の手続きを理解できる。</li> <li>・損益分岐点分析を理解できる。</li> <li>・固定分解を理解できる。</li> </ul>	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
14			
	<b>期 末 試 験</b>		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。</li> <li>・全体の学習事項のまとめが理解できる。</li> </ul>	
<b>総 授 業 時 間 数</b>			30 時間